



カラーでご覧になりたい方は、錦小HP「学校だより」<http://www.ueis.ed.jp/school/nishiki/>までHPでは、学校だよりで紹介できなかった写真も掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

緊急事態に備えて！～エピペン実技研修会～



緊急時対応の模擬訓練

近年、学校給食での食物アレルギー対応が増加傾向にありますが、本校においても食物アレルギーへの配慮が必要な児童がおりますので、関係保護者と連絡を取り合い、給食の代替食や除去食等を提供することにより個別に対応をしているところです。

しかし、万が一のことを想定して、2月3日（水）に食物アレルギーへの対応に関する職員研修を行いました。

主な研修内容は、①食物アレルギー発症時における対応の模擬訓練、②エピペン（医師の治療を受けるまでの間、アナフィラキシー症状の進行を、一時的に緩和し、ショックを防ぐための補助治療剤）の正しい使用についての理解と実習です。

模擬訓練では、児童がアレルギーにより体調を崩したという設定で、児童の情報収集、保健室や管理職への連絡、救急車の要請、エピペンの注射、救急車到着までの準備等について役割分担を決めて取り組みました。本番さながらに緊張感のあるシミュレーションができ、養護教諭からは、気を付けるべきポイント等について説明があり、大変有意義な研修となりました。

一番大切なのは、事故の未然防止であることは言うまでもありませんが、子供たちが安心して学校生活を送れるよう、常に緊急時に備えた準備をしていきたいと思っております。



養護教諭による説明

ありがとう標語の表彰～錦小学校地域協議会～



2月3日（水）の昼休みに地域協議会で募集した「ありがとう標語」の表彰式を行いました。例年、「あいさつ標語」や「交通安全標語」を募集しておりますが、今年度は、学校や地域社会の様々な場面において感謝の気持ちを持ち、自然に「ありがとう」と言える児童の育成を目指して「ありがとう標語」の募集を行いました。

たくさんの応募作品の中から、会長賞、校長賞、優秀賞、優良賞が選出されました。会長賞から優秀賞までの作品は、パネルになり、学校の正門、北門、西門のフェンスに掲示されました。入賞作品については、地域協議会だより3月号で紹介される予定です。（児童名の公表はいたしません）

入賞した児童の皆さん、おめでとうございます。また、応募してくれた児童の皆さん、ありがとうございました。これからもお互いに相手を認め合い、感謝し合える錦小学校・錦地区の児童として頑張っていきましょう。

おじゃまします！！教室訪問 ～にしき〇組～



第13回目は、にしき〇組を訪問しました。担任は、I先生です。国語の時間にお邪魔しました。本時は、「言葉で絵を伝えよう」という単元（学習のまとめ）の第3時間目で、『くわしく分かる言葉を使って、絵のかき方を説明することができる』をねらいとして行われました。

まず、授業の最初では、移動用黒板に掲示してある単元の学習計画を確認させるとともに、黒板に書いてある学習のめあてを児童に確認させていきました。前時までの学習内容からのつながりを意識させ、学習への見通しをもたせる『主体的な学び』の実現への配慮です。

次に、教科書の音読の後、先生は、前の時間の学習活動で使用した掲示物を使い、分かりにくい説明文と詳しく分かる言葉を使った説明文を並べて提示し、分かりやすく説明するために大切なことを児童に見付けさせていきました。児童は、「始めに、次に、・・・というような言葉があると分かりやすい。」「大きな四角みたいに・・・というような大きさや形があると分かりやすい。」というように詳しく分かる言葉に気付いていきました。先生は、児童の発言のよさを認め、ほめるとともに、さりげなく補足説明をしていきました。また、色マジックで言葉を囲んだり、線を引いたり、大切な言葉を吹き出しで示したりして、児童が注意する事項を視覚的にとらえられるような工夫をしていました。

それから、詳しく分かる言葉を使って、ねずみの絵のかき方の説明文を書く学習活動に入りました。児童は、黒板の注意事項を見ながら、意欲的に書いていきます。そして、書き終わってから自分の書いた説明文を読み上げ、それに合わせて先生が絵を描いていく作業を行いました。くわしく分かる言葉がよく入っていたため、相手である先生に説明がよく伝わり、楽しいねずみの絵が完成し、児童も満足感をもつことができました。先生は、児童の取組をほめるとともに、「今日の説明文を使って、お家の人にもやってみましょう。」と学びをさらに生かすことができるよう、助言をすることができ、児童もより意欲を高めていたようでした。

I先生は、特別支援コーディネーターとしても活躍しています。I先生とともに、にしき〇組の児童達がこれからもさらにぐんぐん力を付け、より一段と素晴らしい児童に育つことを大いに期待しています。



おじゃまします！！教室訪問 ～にしき〇組～



第14回目は、にしき〇組を訪問しました。担任は、N先生です。理科の時間にお邪魔しました。本時は、「発電と電気の利用」という単元（学習のまとめ）の第2時間目で、『電気は、蓄えられることが分かり、電気の性質や働きについて進んで調べることができる』をねらいとして行われました。

まず、授業の最初では、「身の回りで電気が使われているものは、何があるでしょうか？」と先生は児童達に問いかけました。児童達に生活経験を想起させ、本時の学習内容についての興味・関心を高める指導です。児童達は、「部屋の電灯」「パソコン」「テレビ」「エアコン」「ゲーム機」など、進んで発言していきます。続いて先生は、「電気をつくることのできる機械がありましたね。」と言い、前時の学習で使用した手回し発電機を提示し、「今日もこれを使って学習を進めていきますよ。どのように使うのでしたか？」と児童に尋ね、児童達に発電機を動かす活動をさせていきました。児童達のやる気をさらに高め、『主体的な学び』を実現していく配慮ができています。

次に、先生は、児童達の発電器を動かす活動を一時停止させ、電気が生まれなくなったことを確かめさせた後、「発電器を動かしているときには、電気ができるけれど、発電器を止めると、電気がなくなります。発電した電気をためて使うことはできないのでしょうか？」と言い、学習問題『発電した電気をたくわえて使うことができるだろうか？』を黒板に書きました。児童達は、「できるよ。」「電池にためられる。」「ゲーム機にもバッテリーがあって電気をためられる」と進んで意見を言います。先生は、児童の生活経験からの発言のよさをほめ、認めていきます。児童達の目がさらに輝いていきます。

それから、実験で確かめる学習活動に入りました。先生からコンデンサの紹介があり、コンデンサを使って電気をため、それを使ってプロペラを回したり、電磁石で釘を付けたりする活動を行い、自分たちの予想を確かめることができていました。授業全体をとおして、熱心に粘り強く学習に取り組む児童達の態度が大変印象的でした。

N先生は、花壇・栽培の担当として環境美化の面でも活躍しています。N先生とともに、にしき〇組の児童達がこれからもさらにぐんぐん力を付け、より一段と素晴らしい児童に育つことを大いに期待しています。



- ※ にしき学級の教室訪問につきましては、児童数が少ないため、掲載欄を半分ずつにさせていただきましたので、ご了承ください。
- ※ 読みやすさを考え、教員の呼称は、「教諭」ではなく、「先生」とさせていただきます。
- ※ 地域・ホームページ用の学校便りでは、不特定多数の人の目に触れることもあるため、教職員の名前は、イニシャルにし、顔写真は、カットしております。ご了承ください。